

# 令和4年度「彫刻」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
3年	美術科	美術	彫刻	2	必修
教科書	WARM UP!				
副教材					

## 学習の目的

- 1 立体表現の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付ける。
- 2 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。
- 3 立体表現の可能性を追求する態度を養う。

## 学習の目標

<b>I</b> 知識・技能	彫刻に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようになる。
<b>C</b> 思考・判断・表現	彫刻に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考・判断・表現ができるようになる。
<b>E</b> 学びに向かう力・人間性等	彫刻に関する専門的な学習に主体的に取り組み、感性を磨き、立体表現を追求する態度を養う。

つきたい力	課題発見能力。発想や構想の能力。 制作を通して主題を追究する姿勢。立体表現力。 既存のものを組み合わせて創り出す力。プレゼンテーション力。
-------	---

評価方法	I	C	E
◇ 制作途中の作品を振り返り、自己評価を行います。(Google Classroomの課題)	○	○	○
◇ 作品完成後は作品をプレゼンテーションしたり、互いに講評し合い、自身の思考の広がり、深まりを評価します。	○	○	○
◇ 完成作品や振り返りの記録(ワークシート等)を、題材に応じた観点で評価します。	○	○	○

## 履修上の注意および学習のアドバイス等

- ◇ 作品制作に必要な画材の準備、情報の取材は自主的に取り組むよう心がけましょう。
- ◇ 提出物は「授業の成果」になります。期限を守り、必ず提出してください。
- ◇ 制作はI・C・Eを相互に関連させ深めていく活動です。画材や技法への探究心を持って取り組んでいきましょう。
- ◇ 鑑賞では作品の良さや美しさを感じ取り、作者の個性や美術文化の良さ感受する姿勢を持って臨みましょう。
- ◇ 自分の考えを深めたり、伝えたりする活動の際は「絵」と「文字」を使って表現します。

## 年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (C・E)	I: 知識理解	C: 思考判断表現	E: 学びに向かう力・人間性
第1学期	4	私の好きな「抽象」彫刻	・「具象」と「抽象」の理解 ・幅広い彫刻表現を理解し、自身の表現に活かす。		・抽象とは何か？	○		○
	5	カービングによる抽象表現	・主題を生成して、立体作品で表現する。 ・カービングの技法の理解と習得 ・素材に適した加工方法、道具の扱いを理解する		・主題をどのように形態に表したか？	○	○	○
	6	テーマ別課題① 自分のテーマに応じた課題を設定し、制作に取り組む。	・自身の主題を生成し、素材や技法を選択して、表現を追求する		・作品について(主題、素材、技法)説明してください。		○	○
	7	幾何形体による立体表現	・造形要素の理解を深める ・素材の加工方法、道具の扱いを理解する。		造形要素をもとに、作品を解説してください。	○	○	
第2学期	9	立体構成	・意図に応じて造形要素を選択し、表現する。 ・素材の加工方法、道具の扱いを習得する。		・主題をどのように形・構成に表した(反映させた)か？	○	○	○
	10							
	11	テーマ別課題② 自分のテーマに応じた課題を設定し、制作に取り組む。	・自身の主題を生成し、素材や技法を選択して、表現を追求する		・作品について(主題、素材、技法)説明してください。		○	○
	12							
第3学期	1							
	2							
	3							

※行事等で変更になる場合があります。